

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	献血者確保推進事業					事務事業コード	03802
部名	健康づくり部	課名	健康づくり課	係名	予防係	部課コード	040400

1. 事業概要

総合計画コード	2531	2532			
事業年度	年度 ~ H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律		
めざす目的成果	相互扶助の精神に基づき、医療に必要な血液の安定的な確保に資するため、献血に協力するとともに、献血運動の推進に寄与することができている。				
事業内容	埼玉県及び埼玉県赤十字血液センターとの緊密な連携のもと、市内事業所及び団体に献血の実施を依頼し、年間の朝霞市内の献血計画を作成する。 朝霞市自治会連合会の協力のもと、市役所(保健センター)にて年間4回の献血を実施する。 献血の実施に当たり、ポスター掲示や広報活動を行う。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 市内の事業所及び団体(27事業所及び団体)が実施 市としては年間4回実施				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・市内事業所及び団体に献血の実施を依頼 ・年間の朝霞市内の献血計画を作成 ・年間4回(5・8・11・2月)の献血実施 ・献血の実施にあたりポスター掲示や広報活動を行った。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		191	193	191	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金	64	64	64	
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	127	129	127		
	b 人件費		2,565	2,198	2,565	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		2,756	2,391	2,756	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.35 人	0.30 人	0.35 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	需用費 191千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 献血総量(移動採血分)	ml	1,260,000 (683,400)	1,260,000 (—)	1,260,000 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度
成 果	① 献血(採血)者数(朝霞市内) (目標人数は県で決定した人数)	人	3,500 (1,789)	3,500 (—)	3,500 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 市が広報を行うことにより、広く市民に献血の意義・必要性、血液確保の重要性を伝えることができる。特に近年、災害が多く発生する状況において、一時的に輸血用血液が不足したこともあり、また、県内の献血者数(特に10~30歳代)が減少していることから、その重要性が増している。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 市庁舎耐震工事のため、会場を市役所から保健センターに変更したこともあり、献血総量や献血者数が予定より大幅に減少してしまった。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 市民が献血に協力しやすい環境づくりに配慮した。 参加と協働: 朝霞市自治会連合会に、献血についての周知において協力を依頼した。 経営的な視点: 県や埼玉県赤十字血液センターと連携し、献血者の増加を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 平成28年3月に朝霞市献血推進協議会が解散し、平成28年度から市が直接事業を行う体制へ変更したことにより、事務の効率化が図られたが、献血者数の増加に向け、より一層、埼玉県赤十字センターとの連携強化に努めたい。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)		
<input type="checkbox"/> その他	(実施時期 : H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	平成28年度から、市が直接事業を行う体制に変更したことにより、事務の効率化が図られた。今後も引き続き、献血者数の増加に向け、広報活動の工夫や埼玉県赤十字センターとの連携強化を図っていく。			